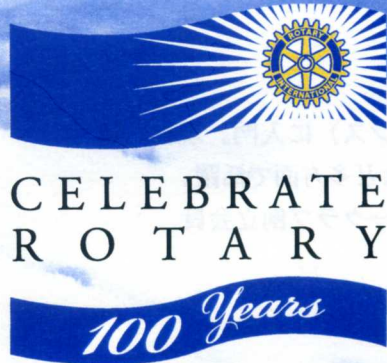




ロータリーを祝おう

2004-05年度 RI会長
グレン・エステス・シニア

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後12:30～1:30
例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡
事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375



会長 斎藤 昭
幹事 佐藤 孝子

第2267回 例会会報 平成17年5月10日(火) 晴(本年度 第39回)

ゲストスピーチ⑬

子どもの頃の思い出

致道博物館常務理事 酒井 忠治氏



酒井でございます。今日は平田さんから「明治維新後の酒井家」について堅苦しく無く話してほしいと言われましたが、兄(故忠明氏)ならばそのような話も慣れておりましたし、ユーモアを交えてお話しできるのですが、私は話が苦手ですので子どもの頃の思い出話をさせていただきます。おそらく皆さんが知らないだろうと思うことを話してみようと思っております。

昭和10年代、私が生まれた本家と致道博物館はつづいていました。昭和25年に切り離して改築したわけです。昨年8月18日に、台風によって致道博物館の赤門が倒されました。その赤門というのが明治25年に一度倒れて、昭和25年に建て直したのがあの赤門です。現在ようやく復元しましたが、私が子どもの頃出入りした門でございます。あの門をくぐった人と言いますと、昭和22年に昭和天皇がくぐられ、その後、現天皇の皇太子時代や高松宮様もくぐられた由緒ある門でした。倒れたとき皆様方からは是非復元してもらいたいという要望がございまして、私どももなんとか元のように復元したいとそんな思いもありましたので、皆様からの御協力によりりっぱに復元できた訳でございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

私が小学生の頃、山形に山形32連隊という連隊がありました。昭和何年だったか、庄内地方で秋季大演習というのがありました。連隊の兵隊さんたちがこのあたりに分かれて民宿をしました。この時本家が始めて連隊本部になりました。連隊本部にな

るといことは、当然連隊長がお泊まりになりますし、軍旗である連隊旗も置かれるわけです。ご存じの方もおられると思いますが山形32連隊の連隊旗は日清・日露戦争で大活躍したというものでございます。連隊旗手が陸軍少尉だったと思います。その連隊旗をどこに安置するかというと、本家の客間の床の間にちゃんと飾り、そして連隊長は客間の次の間にお泊りになりました。床の間に対する縁側には番兵が銃を持って交代で歩哨に立っていました。

連隊がお帰りになる時、私の父だったと思いますが、記念に玄関前で写真を撮らせて頂けないかとお願いました。連隊長さんを中心に家族が並び、連隊旗も入れていいかとお聞きしたら連隊旗は天皇陛下よりお預かりしているもので駄目だといわれました。その後二回目の連隊本部をお引き受けしたときは連隊長も代わり連隊旗を入れた記念写真を撮らせてもらいました。連隊長は田中大佐だったと思います。その写真が現在も本家に残っています。このことはあまり知られていないと思います。

昭和22年、昭和天皇が東北巡幸の時、鶴岡では本家が行在所になりました。その時私はまだ本家におりました。侍従長や大臣、お付の方々に我々の居場所がなくなり、家全部を明け渡して別の家へ移りました。その時の模様は兄の記念誌にも載っております。もう少し詳しく言いますと、天皇のベットは持ち込みです。トイレもお持ちになりました。どんなものかは拝見しておりませんが、お供に付いてきた舎人という役人が、影の方でもしお使いになった場合、その処分にどこかい所はないかと家で働いていた人に尋ねたので、その人が致道博物館の池の脇に大きなつつじの木があるので、その影の方はどう

出席は クラブの活力	本日 の 出席	会員数	45人	前々 回の 出席	出席率	78.04%
		出席数	30人		修正出席数	35人
		出席率	71.43%		確定出席数	87.50%

かと応えました。実際処分されたかどうかは知りません。

終戦後、高松宮殿下も一泊されたことがありました。殿下は海軍の中佐か大佐だったと思います。殿下と家の両親、兄と私で歓談する機会がありましたが殿下は大変気さくな平民的な印象の方でした。私たちの知人で殿下の部下でもあった菅原のぼる中佐のことを話すと「あー、菅原か、あの男はいい男だ」と言われました。その後も私が在籍していた高校に殿下が視察にこられ、その時も親しく話しをすることが出来ました。

私も80歳になりました。とりとめのない話で恐縮でしたがこれで閉じさせていただきます。ありがとうございました。

会 長 報 告

斎 藤 昭

ロータリーの友4月号に風紋（長い年月によってつくられる美しい砂丘のシマ模様）に芸能生活55年を迎えた女優松島トモ子さん。今も変わらない好奇心で次々に新しい経験に挑戦する。2月2日東京渋谷区役所で開かれた「平和を考えるつどい」の会場で講演された内容が記載されてありましたので、すでに会員の皆さんもお読みになったことでしょう。父が三井物産の社員であり、中国の奉天で現地召集終戦、ソ連軍捕虜収容所で昭和45年10月に亡くなり、その墓参のこと、自分がアメリカ留学で転機となったこと、歌や踊りがうまくなり、英会話が達者になったからだけではない。何よりも社会的な関心が広がり、目が世界に向かって開けたことが大きかった。「子役」は見事に脱皮した。他人のために何かをすることのうれしさ、これがロータリーの奉仕の精神なのかと思っている。2005～2006年度恵比寿ロータリークラブの会長を務められたとのこと、恵比寿ロータリークラブは10年の歴史で松島さんは創立の会員で4人目の女性会長になり今後も活動されるとのことです。苦難の歳月が人を磨き上げ、その人独自の風格をつくり上げたことに感動を受け報告をした次第です。

松島トモ子さん 経歴

旧満州（現在中国東北部）生まれ。3歳からバレエを学び映画「獅子の罠」でデビュー。以後名子役として「鞍馬天狗」をはじめ80本の映画に出演、雑誌「少女」の表紙のモデルを10年間一人で務める。童謡、ポピュラー、歌謡曲の歌手として活躍、19歳でニューヨークのザ・マスターズに留学、卒業後マ

ザー・グラハム（モダンダンス）に入門。現在、舞台、テレビ、ラジオ、講演など多方面で活躍。1995年東京恵比寿ロータリークラブ創立会員。

理事会報告

1. 協 議

(1) 予算決算について

1) 黒豚を楽しむ家族例会の収支報告と承認

収 入

登録料 108,000円

助成金 11,483円 17,293円

支 出

東京第一ホテル鶴岡 119,483円

豚肉代 17,293円

2) 孟宗汁家族例会の登録料について

日 時 5月24日（火）18：30

場 所 甚内旅館

登録料 会員 4,000円 家族 2,000円

東江戸川RCより7名の参加

登録料 11,000円 甚内旅館宿泊を含む

3) 立川RC30周年記念式典の費用負担金について

登録料 10,000円はクラブ負担

交通費は各自負担

4) RAC地区年次大会の費用負担について

日 時 5月21日（土）～22日（日）

登録料 2,000円は各自負担

懇親会参加7,000円の内5,000円はクラブ負担

5) クラブ事務局担当者会議の費用負担について

登録料 10,000円

(2) 最終クラブ協議会について

(3) 最終例会について

6月28日（火）18：30 東京第一ホテル鶴岡

2. 報 告

(1) 新入会員について

山形日産自動車販売社長 足立篤司氏

委 員 会 報 告

出席委員会

委員長 本間昭吉君

○メイクアップをされた方

藤川享胤君 塚原初男君 加藤 賢君

○ビジター

富樫幸弥君（鶴岡東ロータリークラブ）

スマイル

佐藤 孝子君 来週の例会、都合でお休みします。

富樫次年度幹事よろしくお願いします。